令和４年度　第　１　回地域密着型運営推進会議　進行次第

開催日　令和　４年　４月２０日（水）
時　間　１７：３０～　　：
場　所　在宅老人デイサービスセンター

１．開会

２．議事

（１）地域密着型利用状況報告について
・別紙資料参照

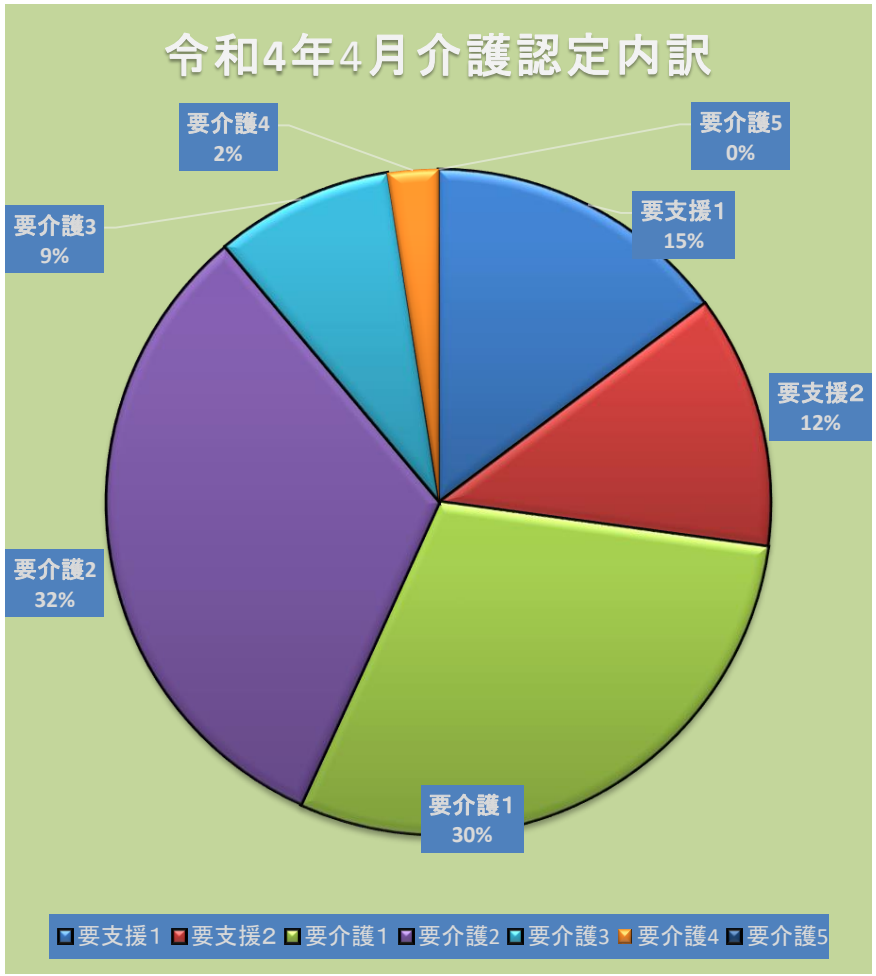
（２）施設活動報告

（３）令和４年度　介護老人福祉施設事業計画
・別紙資料参照

（４）その他のご意見・ご要望等について

令和　4年1月～4月　デイサービス　曜日別登録者数

		月		火		水		木		金		総計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
1月	介護認定	2	13	3	11	2	12	3	16	4	10	
	(介護)1日現在曜日別利用者数	15		14		14		19		14		76
	自費						1					1
	身障			1						1		2
2月	介護認定	2	15	4	10	3	12	4	14	4	10	
	(介護)1日現在曜日別利用者数	17		14		15		18		14		78
	自費						1					1
	身障			1						1		2
3月	介護認定	2	15	4	9	3	12	4	14	4	10	
	(介護)1日現在曜日別利用者数	17		13		15		18		14		77
	自費						1					1
	身障			1						1		2
4月	介護認定	2	17	4	9	3	12	3	14	5	12	
	(介護)1日現在曜日別利用者数	19		13		15		17		17		81
	自費						1					1
	身障			1						1		2
4月介護認定内訳	要支援1	3		2		1		3		3		12
	要支援2	4		0		2		3		1		10
	要介護1	5		5		5		5		4		24
	要介護2	3		6		6		4		7		26
	要介護3	3		0		1		1		2		7
	要介護4	1						1				2
	要介護5											0
	計	19		13		15		17		17		81



１２月　女性Aさん 自費利用開始（介護保険施設入所中）
女性Bさん 施設入所のため利用終了
男性Cさん 死去のため利用終了
女性Dさん 死去のため利用終了

１月　女性Aさん 利用開始
男性Bさん 利用再開（施設より自宅へ）

※曜日変更の方や週に複数回利用の方もいるため、利用開始、終了の人数と総計は合致しない場合があります。

２月　女性Aさん 施設入所のため利用終了

３月　女性Aさん 死去のため利用終了
男性Bさん 利用再開（体調不良の家族が死去し、日数が経過したため）
女性Cさん 利用開始
女性Dさん 入所中の施設に慣れたため利用終了
女性Eさん 利用開始

地域密着型特別養護老人ホーム要介護度別入所者数

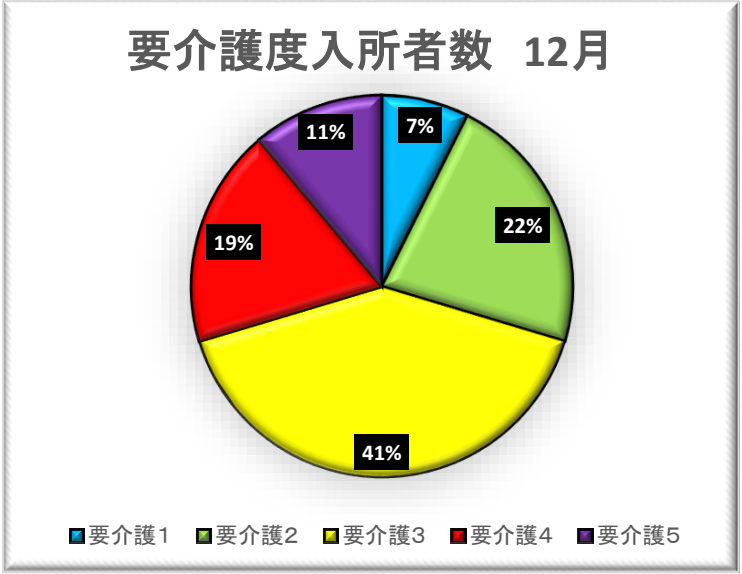
R3年12月

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	6	11	5	3	27

平均介護度　3.04

入所　0名

退所　1名



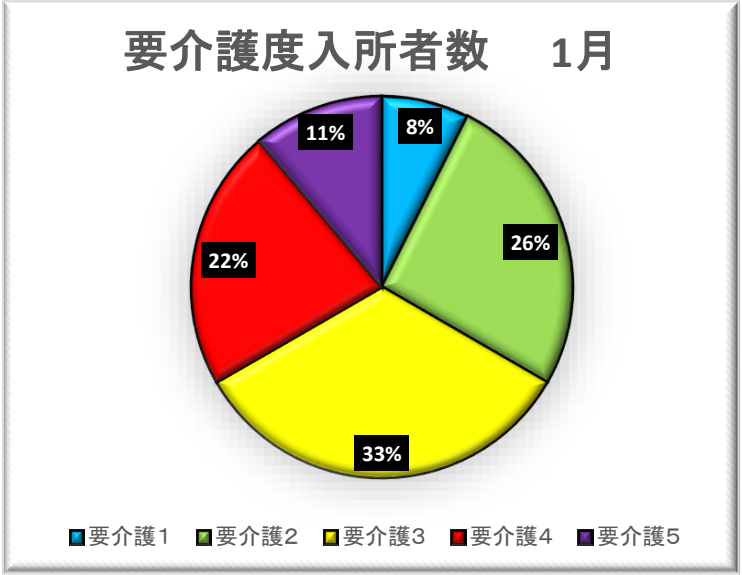
R4年1月

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	7	9	6	3	27

平均介護度　3.04

入所　0名

退所　0名



地域密着型特別養護老人ホーム要介護度別入所者数

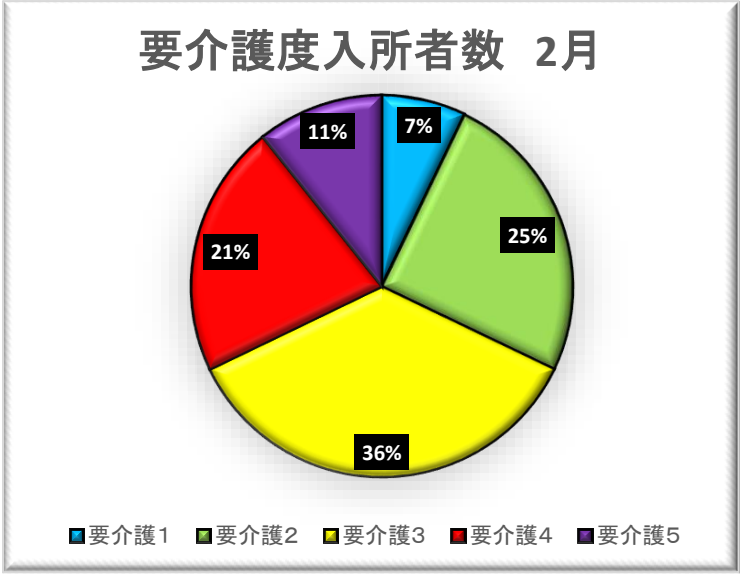
R4年2月

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	7	10	6	3	28

平均介護度　3.04

入所　1名

退所　0名



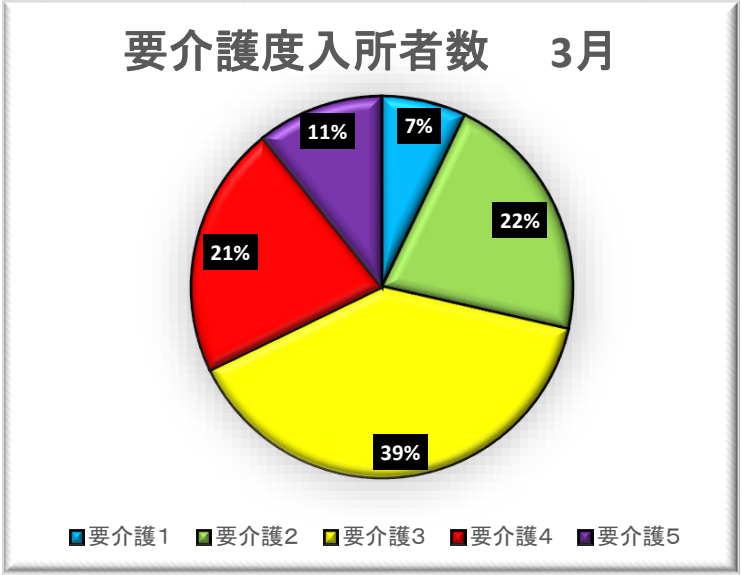
R4年3月

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	2	6	11	6	3	28

平均介護度　3.07

入所　0名

退所　0名



4月時点の地域密着型入居者待機人数は、42名
男性:11名
女性:31名

令和4年度第1回
地域密着型介護老人福祉施設
運営推進会議

1. 施設活動報告
2. 介護老人福祉施設事業計画

報告内容

・令和3年10月～令和4年3月

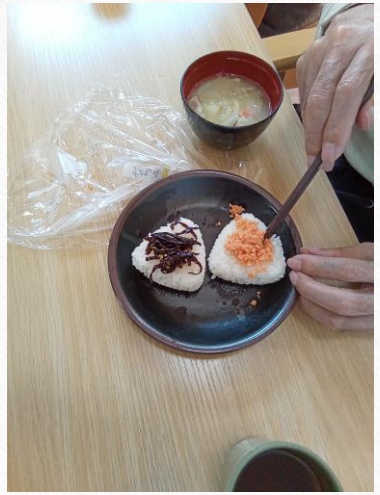
施設活動報告

・令和4年4月～

令和4年介護老人福祉施設事業計画

施設活動報告
10月
おにぎり・豚汁作り

この企画は、食の秋を楽しむ目的で開催されました。おにぎりは新米を炊く所から始め、豚汁は材料を切るところから始めました。利用者さんには、米とぎ、食材切り、おにぎりを握り、具材を盛る工程を行ってもらい、塩、鮭フレーク、おかか、梅干し、昆布、うめびしおの各種おにぎりを作りました。

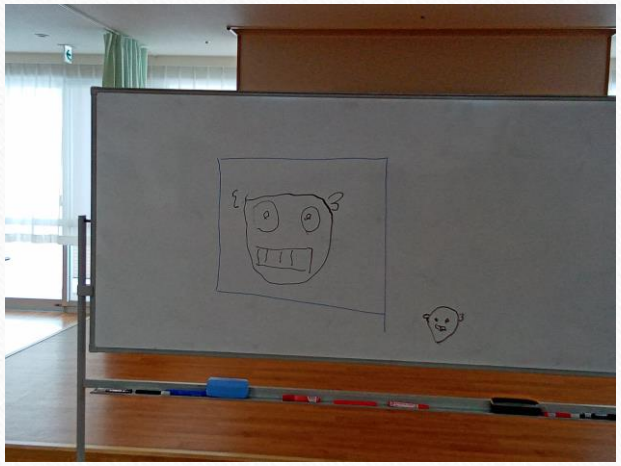


施設活動報告
12月
クリスマス会

　この企画は季節のイベントを楽しむ目的で毎年開催されています。クリスマス会では、毎年利用者さんに対して施設からささやかなプレゼントをさせて頂いています。職員がサンタにふんして皆さんにプレゼントを配りました。

施設活動報告
２月
節分

　節分では、利用者さん自ら「豆をぶつけられたい」と言うリクエストがあり、鬼にも利用者さんが参加しました。また豆まきのあとは、お絵かき連想クイズを行い、珍解答などもあり、盛り上がっていました。



施設活動報告
３月
誕生会

　毎月誕生者を祝うため、誕生会を開きその中で、ちょっとしたレクレーションと誕生者には出前を注文し少し特別な食事を食べると言うことを行っています。

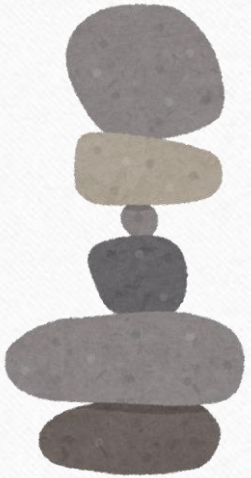
　コロナ禍でなければ、外部のボランティア活動団体等に来所してもらい、賑やかに行っていましたが、現在は不可能となっています。

デイサービス活動報告
1月
すごろく・文字遊び・カルタ等

年明けに恒例のすごろくを行いました。東海道の宿場町を周る大きなすごろくで、サイコロを振り、運の悪い方はスタートに戻るなど、一喜一憂し盛り上がりました。又、魚偏の漢字クイズや野菜の名前をたくさん言うゲームを行いました。野菜の名前は得意な方が多く、たくさんの野菜の名前が出ました。いろいろな方に参加していただけるよう職員がヒントを出すなど工夫していました。

デイサービス活動報告
２月
テーブルホッケー・言葉の木・タワーゲーム等

テーブルホッケーでは、２チームに分かれた利用者の方にテーブルを囲んで交互に座っていただき、手に持った箱でボールを転がしゴールを狙うゲームをしました。ゴールしてもブロックしても大変盛り上がっていました。言葉の木では、隣に座った方と協力してたくさんの文字の書いたピースからお題「あさがお」等の言葉を作る等、脳トレーニングに近いゲームを行いました。タワーゲームはピースを何個積めるか競うゲームで意外と白熱するゲームをしました。



デイサービス活動報告
３月
輪投げ・10秒あてクイズ・ジェスチャーゲーム

１０秒当てクイズはストップウォッチを使い、５秒、１０秒などぴったりの時間に押せるか競うゲームをしました。職員が出来なかったピッタリ賞を出す方もいました。

ジェスチャーゲームでは「田植え」などのお題を見て動作で皆さんに当ててもらうゲームで、ジェスチャーする方も当てる方も大変上手でした。

以上、令和3年度コロナ禍での施設内活動報告でした。

令和4年　介護老人福祉施設事業計画

地域密着型特別養護老人ホーム福寿園（サテライト型）事業計画

在宅老人デイサービスセンター事業計画

令和４年度　介護老人福祉施設事業計画

◎広域型特別養護老人ホーム福寿園事業計画
◎地域密着型特別養護老人ホーム福寿園（サテライト型）事業計画

１．基本理念

①　利用者の人生哲学を最大限に尊重して、明るい未来を共に築いていく。

②　利用者の健康維持を図ると共に、自己決定権を尊重し、自分らしさを活かした豊かな生活を楽しんで頂く。

③　住み慣れた郷土の中で、家庭との絆を更に強め、地域社会の各層と緊密な連携を保ちながら、建設的な社会貢献を目指していく。

④　職種の垣根を越えて一致協力し、日々研鑽に務めながらケアの質の向上に最大限の努力を傾注していく。

２．スローガン

「これからも更に明るく生きて行く自分らしさに喜怒哀楽の色添えて」

介護保険法の基本理念である「自立支援」「尊厳の保持」に基づき、単に「身体的自立」を目指すだけではなく、「精神的自立（生き甲斐があり、人生の終焉まで気力が持てること）」入居者一人ひとりが、一日でも長く、明るく笑顔で、時には怒ったり泣いたりの感情を表現し福寿園で自分らしく安心して暮らせるよう支援します。

３．運営方針

①　介護老人福祉施設広域型特別養護老人ホーム（ユニット型）及び地域密着型特別養護老人ホーム（サテライト型）は、それぞれの特徴を活かし、介護が必要な高齢者の日常生活を支援します。

家庭的な雰囲気の中で精神的に安定し、毎日が心豊かに過ごせるように専門的な介護サービスの提供に努めます。

②　広域型特別養護老人ホームは全室個室のユニットケアを実施するに当たり、利用者のプライバシーに配慮した施設の特性を活かし、入居者同士が安心できる関係の形成と交流できる仲間づくりの支援に努めます。

③　サテライトの地域密着型特別養護老人ホーム多床室（４人部屋）は、同室者との間仕切りダンスを設置したベッド間隔が広いプライベートスペースを活かし、入居者一人ひとりの個性を重視し心身の自立を支え、職員と入居者同士がふれあいの持てる賑やかな環境で過ごせるよう支援します。

④　短期入所生活介護においては、利用者の家族及び介護支援専門員と連携を図り

利用者一人ひとりの日々の生活実態に添った、安心して利用いただける環境づくりの提供に努めます。

⑤　施設の入居者・利用者に活気のある生活を提供するため、季節行事等のイベントを中心に、職員自らの創意工夫による「生きがいのある環境づくり」に努めます。

⑥　新型コロナウィルスの今後の推移に配慮しながら、ボランティア等の地域住民の参加を積極的に受け入れ、入居者は施設内だけで生活するのではなく、社会の一員であることを再認識し「生きがいのある生活の創造」を目指すため、地域からの施設理解をさらに深めてまいります。

⑦　新型コロナウィルスの今後の推移に配慮しながら、福祉に関する啓蒙意識、地域社会との連携を深めるため、社会福祉協議会をはじめ、ボランティア等の体験実習並びに教育機関、各種団体の教育実習の場として受け入れてまいります。

⑧　地域包括ケアシステム推進のため、地域住民の期待に応えられる施設としての役割を明確にするとともに、地域福祉活動への関心を高め、地域住民との相互連携を図ってまいります。

４．目標

①　日常生活の尊重

施設内で提供する介護サービスの食事、排泄、入浴、衣類の着脱、移乗、移動などの生活援助サービスは自立支援の視点で支援を行います。

介護サービスを提供する職員とそれを受ける入居者・利用者との相互の人間関係を築くことによりニーズを把握し、日常生活のサービス提供に努めます。

②　自己決定の尊重

自己決定の尊重は、人間の尊厳の尊重の基本となるものです。施設サービス等を提供するにあたり、常に入居者・利用者の自己決定を尊重し、ニーズの変化に合わせたサービスの提供に努めます。

③　職員の資質の向上

職員の日頃のやさしい声掛けや心遣いが、入居者・利用者に安心感をもたらします。決して誤解を招くような言葉、態度等とならないよう日々資質の向上に努めます。

また、入居者・利用者と職員間に安定した関係が成立するためにニーズを傾聴し、共感、受容することが重要であり、このことから職員の介護技術等の指導・助言と各ユニット間の連携、取りまとめ役として、介護係長、介護主任が中心となり進めます。また、個別のニーズに対応する専門的な知識技術を習得するため積極的に研修会に参加し自己研鑽に努めます。

④　入居者・利用者の生活支援

令和３年度は新型コロナウィルス感染予防対策の影響から広域型・地域密着型における全体行事、地域ボランティア活動等がすべて中止せざる得ない状況となり、入居者・利用者の生活支援に大きな影響を及ぼしました。

令和４年度においては、新型コロナウィルス感染状況の経緯を見据えながら、広域型・地域密着型福寿園年間目標及び生活委員会他３委員会の目標（別紙のとおり）を設定し実践してまいります。

各委員会等の業務マニュアルの見直し、感染症の予防対策、ハラスメント対策等入居者・利用者が安心して生活できる環境を提供できるよう進めてまいります。

⑤　ユニット介護員体制の見直し

令和４年度よりユニット介護員体制を１１のユニットを３区分しそれぞれ主任を配置し、現在の主任１名から３名体制とします。

このことから、主任とユニットリーダーとの身近な体制のもと、さらに連携を強化しながら、入居者・利用者へのさらなる介護サービスの向上、生活環境の充実と介護員の人材育成、技術の向上等を進めてまいります。

⑥　ICT 導入事業の推進

介護人材の不足等が社会問題となっているなか、働きやすい環境づくり、介護サービスの質の向上を目的に、ICT（情報通信技術）化を進め、介護記録業務が本来のケア業務や休憩時間等に影響しないよう職員の負担軽減に取り組みます。

合わせて、国が推進する科学的介護情報システム（LIFE）に取り組み、経営上の介護報酬加算取得を目指します。(デイサービスセンターも含め)

５．災害・防犯対策

①　災害対策

施設職員一人ひとりの危機管理についての知識を深め、大規模災害等も想定し、常に利用者の生命を守るため、年２回の防災避難訓練を実施します。

②　防犯対策

防犯対策マニュアルに基づき、入居者・利用者の防犯に係る安全確保に努め、定期的に施設職員の研修を実施します。

６．地域連携の推進

地域住民、他の社会福祉法人及び関係団体等との連携をさらに推進し、医療・介護・福祉等の地域包括ケアシステムのさらなる充実を図るため、その一員として、積極的に地域課題に取り組み、専門的サービスの提供に努めます。

令和４年度在宅老人デイサービスセンター事業計画（案）

Ⅰ　目的、運営方針

１．目的

要支援・要介護と判定された方、要支援・要介護状態になる前からの介護予防が必要な方並びに身体に障害があると判定された方の心身の状況、生活環境、本人及び家族等の希望を尊重して作成された支援計画に基づき、利用者の有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう通所介護サービスを提供します。

利用者が必要とされる支援・介護及び機能訓練等を提供することにより、社会的孤独感の解消及び心身機能の維持並びに家族等の身体的、精神的負担の軽減を図ります。

２．運営方針

事業の目的を推進するため、砂川市、砂川市地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

地域密着型通所介護事業所として高齢者及び障害者支援のため、次の事項に重点を置き、事業推進にあたります。

①　各関係機関、事業所との連携を図り、より円滑な利用者の受入れを促進します。

②　情報の共有をさらに進めながら、家族及び居宅介護支援事業者に対し、迅速かつスムーズなケア情報の提供にあたります。

③　家族や地域との連携を図り、地域の支え合い体制づくりの地域資源として日常生活支援総合事業の推進に努めます。

④　利用者が楽しく、安心してサービスを受けられるよう、質の高いサービス提供に向けた職員の資質向上のための研修に取り組みます。

Ⅱ　サービス別目標

１．生活相談

利用者個々の生活状況を把握し、適切な生活相談及び助言ができるよう努めます。

２．機能訓練・レクリエーション

利用者の身体状況や能力、希望に沿って、楽しみながら行えるプログラムを提供できるよう内容を工夫します。

３．養　護

利用者の身体状況や体調に応じた休養がとれるよう声掛け誘導を行います。

４．健康チェック

①　利用者の健康状態を把握するため、家族との連絡を密にします。（サービス手帳の積極的利用）

②　新型コロナウィルス感染対策を含めた通所時の体温、脈拍、血圧測定と定期的な体重測定による健康状態の確認を行います。

③　新型コロナウィルス、インフルエンザをはじめとする感染症疾患に関する予防と家庭への啓蒙活動を行います。

５．送迎サービス

①　送迎マニュアルの徹底と安全運転意識の高揚を図ります。

②　迎えの際、火の始末と施錠等について声掛け確認を行います。

６．入浴サービス

①　利用者の身体状況に応じ、特浴を含めた入浴方法に配慮します。

②　利用者の全身状況を確認するとともに、入浴事故防止の観点からもこまめな声掛けなどに心掛けます。

７．食事サービス

①　利用者の身体状況やペースに応じた食事サービス（食事形態等）の提供に努め、偏食せずに摂取できるよう声掛けを行います。

②　趣向調査等の実施により利用者ニーズの把握に努めます。

Ⅲ　災害・防犯対策

１．災害対策マニュアルを基本とした利用者も参加する訓練を実施します。

２．緊急時の救命措置等について定期的に職員の研修を実施します。

３．防犯対策マニュアルに基づき防犯に係る安全確保に努め、定期的に職員の研修を実施します。

Ⅳ　地域連携

地域の社会福祉法人、関係団体等と協働し、医療・介護・福祉等の連携による地域包括ケアシステム推進に向け、地域で多様に支え合う仕組みの充実を図るため、地域の課題に取り組み、専門的サービスの提供に努めます。

令和　4年度　第1回　地域密着型運営推進会議録

事業者名 住所	社会福祉法人　砂川福祉会 砂川市西3条南10丁目3番1号	
事業所名 住所 サービス種類	地域密着型特別養護老人ホーム福寿園（サテライト型）・在宅老人デイサービスセンター（地域密着型） 砂川市三砂町55番地6号 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・地域密着型通所介護	
開催日時 開催場所	令和　4年 4月20日 在宅老人デイサービスセンター	
出席者内訳	事業者:　小澤　敏博（施設長） 梶　信子（主任生活相談員）	北谷　将文（相談支援係長） 古舘　輝一（相談支援主任）
	利用者・家族: 1名	
	地域代表:　1名（三砂町内会　会長）	1名（元砂川地区広域消防組合消防長）
	市・包括職員: 1名（砂川市役所　高齢者支援係職員）	1名（地域包括支援センター）
	見識者・その他: 0名	
議題・課題	1、地域密着型利用状況報告 2、施設活動報告 3、その他のご意見・ご要望等について	
報告事項	1、地域密着型利用状況報告（別紙参照） 2、施設活動報告（別紙参照） 3、介護老人福祉施設事業計画（別紙参照）	
評価（感想等）		
要望、意見及び助言等	3、介護老人福祉施設事業計画について 施設長より 令和4年度についても、新型コロナ感染が落ち着きを見せていない状況から、福寿園祭等の全体行事を中止とします。なお、各ユニット、地域密着においては、それぞれの行事、レクレーションを企画、実施したい。 国で推進する施設ICT化を将来に向けて進めるため、プロジェクトチームを設置し、具体的に協議を始める。 災害対策として、防災避難訓練を実施するにあたり、地元町内会（三砂町内会）の協力、参加を得ながら実施したいと考えている。	
	特になし。	
その他必要な事項		